KYT 4ラウンド法 進行台本（30分）

リーダーは青字のセリフをそのまま読めば進行できます。時間配分は弊社の目安で、公式の基準ではありません。

時間	場面	リーダーのセリフ・進め方
3分	目的と約束	「今日はこの場面に潜む危険を全員で見つけ、私たちの行動目標を決めます。約束は2つです。人の意見を批判しないこと、正解を探さないことです」 リーダーと書記を決める。
3分	個人の点数付け （弊社の追加手順）	「まず一人で、黙ってこの場面の危険度を4段階で付けてください。1は気にならない、2は少し気になる、3は声をかける、4はすぐ止める、です。では一斉に見せましょう」 点数の差が大きければ、その理由から聞く。点数は個人の評価に使わない。
8分	第1ラウンド 現状把握	「どんな危険がひそんでいますか。『〜なので、〜して、〜になる』の形で教えてください」 書記が記入シートへ書く。すべての意見を受け止める。
5分	第2ラウンド 本質追究	「この中で、チームにとって特に重要な危険はどれですか」 重要な項目に○、合意で絞った1〜2項目に◎。 「全員で唱和します。〜なので〜になる　ヨシ！」
5分	第3ラウンド 対策樹立	「◎の危険に対して、あなたならどうしますか。具体的で、実行できる対策を教えてください」 1項目につき3つほど出してもらう。
4分	第4ラウンド 目標設定	「私たちが必ず実施することは、どれにしますか」 重点実施項目に※を付け、チーム行動目標を決める。 「〜するときは、〜を〜して〜しよう　ヨシ！」
2分	確認と締めくくり	「現場で確認する指差し呼称の項目を決めましょう」 項目を3回唱和し、タッチ・アンド・コールで締めくくる。次回の振り返り日を伝える。

進行のコツ

・発言が止まったら「この場面で一番ヒヤッとするのは誰ですか」と視点を変える
・「注意する」で終わる対策は「誰が、いつ、何をしますか」と聞き返す
・ベテランの発言は最後に聞くと、若手が話しやすくなる

手順の参考: 厚生労働省 職場のあんぜんサイト「危険予知訓練（KYT）」／ 作成: 株式会社HEART QUAKE

KYT 4ラウンド法 記入シート

実施日		チーム		リーダー		書記	

題材（場面の説明）

個人の危険度（4段階） 1気にならない 2少し気になる 3声をかける 4すぐ止める	

第1ラウンド：どんな危険がひそんでいるか（〜なので、〜して、〜になる）
第2ラウンド：これが危険のポイントだ（重要な項目に○、絞った項目に◎）
第3ラウンド：あなたならどうする（具体的で実行できる対策）
第4ラウンド：私たちはこうする（〜するときは、〜を〜して〜しよう ヨシ！）
指差し呼称の項目 ／ 次回の振り返り日